

# アルビン研究室の活動内容

## － 2年間の報告と今後の方向性－

**日時:** 2018年8月2日(木) 17:00～18:30

**場所:** 神戸大学 国際文化学研究科E410・学術交流ルーム

**講師:** ALBIN Aaron (神戸大学国際文化学研究科講師)

### 報告内容:

アメリカ英語の方言の記述的研究から、日本語発音自動評価アルゴリズムの開発まで、多岐にわたる研究テーマを扱ってきた。傍から見て、これらのテーマがどのように繋がっているのかが不明に見えることもある。この発表では、ここ1年間の業績に焦点を当てつつ、本研究室の研究成果リストにはどのようなネットワーク構造があるのか、そしてどういう経緯でそれぞれのプロジェクトに取り組んだのか、などを明らかにする。最後に、以上を背景とした将来への展望も紹介する。

### 報告者プロフィール:

2015年にインディアナ大学で博士課程を修了後、2016年までペンシルベニア州立大学でポスドク(研究員)を務めた。2016年10月から本研究科に着任し、言語学や音声学、第二言語習得論の分野で研究を進め、主にイントネーションの習得や音声データの計量分析方法の研究に取り組んでいる。

主催: テニュアトラック教員(アルビン講師) 育成グループ

協力: 国際文化学研究推進センター(Promis)

問い合わせ先: 藤濤 文子(国際文化学研究科) fumiko[at]kobe-u.ac.jp